



一步進んでできることをやっていく。

オールふじみ野で

この難局を乗り越えていきたいと思います。

高畑 博 市長



市長 新型コロナウイルス感染症に関する国の動向をみても、感染対策と経済活動を同時に進めて行こうとする姿勢が見受けられます。皆さんの地域活動においても、感染防止対策を徹底した上で、人数制限や書面・リモートによる会議の開催など工夫して活動してこられたのが分かりました。

市でも、感染対策を徹底するとともに、感染状況などに応じた公共施設の段階的な利用制限の緩和をしたり、例年と場所を替えて「成人式」を実施することにしたたりして、「全て中止」から一歩進んで、状況を見つつ、できることをやっていこうというスタンスに変更してきました。感染対策と地域・経済活動を工夫して同時に行おうという姿勢が必要だと思っています。

意識や行動の変化

小泉 私個人のことになりませんが、起床したら、窓を全開にして換気をしています。また、外出時には、バッグの中に消毒用アルコールを持ち歩き、自宅に戻った時には除菌スプレーを使うなどするようにになりました。なお、日頃からウォーキングをしています。必ずマスクを着用するようにしています。

原田 私自身、新型コロナウイルス感染症に関する意識や行動が変化したのは令和2年2月17日でした。福岡県で2000人余りの全国大会に参加した後、夜のパーティーでお酒をいただきました。この時はまだ感染拡大はしていませんでしたが、新型コロナウィルスが少しく頭をよ



小泉 二三枝さん
市社会福祉協議会会長
「地域や人と人とのつながりを大切に、住みよい街づくりをしていきたいと考えています」

行動規範の徹底をもう少しみんなで頑張りましょう。

箕輪 商工会の運営としては、オンラインでの会議の開催や相談窓口の運営など、新しいスタイルを構築していきたいです。

重要課題である飲食店対策としては、with コロナ時代を正しく認識し、営業していかねければ社会的責任は果たせず、顧客に背を向けられることになりません。引き続き、会員への啓発活動を強化し、一過性ではなく伴走型の支援対策を講じていきたいと思っています。

本会青年部が昨年6月に市内の学校などへ消毒液を配付させていただきましたが、市の産業振興はもとよりwith コロナ時代においていかに地域社会に貢献でき



原田 晴男さん
市自治組織連合会会長
「『家族が大事・地域が大事・みんなが大事』と考えると、もう少しみんなで頑張りましょう」

ぎりました。万が一自分自身に起きたらと、この日から「いっ・どこで・誰と会ったか」などを書き留めています。また、以前と比べると外出する機会が減るなど自身の生活スタイルが大きく変化してきました。

箕輪 部会などの会議終了後の飲食を伴う懇親会は自然と実施を控えています。商工会事務局としては過敏すぎるほどの感染対策を施しています。が、今では会員や来会者の理解が深まり、円滑にご協力をいただけるようになりました。

市内の飲食店においては、コロナ禍を受けて、新たにランチ営業を始めたたり、テイクアウトやデリバリーに力を入れたりするなど、それぞれの特性を活かした工夫が見られるようになったことは心強い

とと思っています。

と思っています。

吉田 懇親会などはなくなりまして。元々お酒は得意ではないので全く飲まない生活になりました。

同じ場所に集まらなくてもオンラインで会議や事業ができる。やったことのないものに挑戦をするのだから、失敗を恐れずにチャレンジしていこうという意識が強まりました。

市長 3月頃と今とでは、市民の皆さんの新型コロナウイルスに関する意識や行動は比べものにならないくらい大きく変わってきたと感じています。手洗い、手指消毒、マスクの着用などは既に皆さんの生活の一部となり、当たり前のこととなっています。

今後は、ワクチンや治療薬の開発・普及が待たれるとこ

今後の活動方針

小泉 社会福祉協議会の活動としては、地域や人と人とのつながりを大切に、住みよい街づくりをしていきたいと考えています。オンラインを活用しての地域活動やおうち時間を活用してのボランティア活動などを広げていければと思っています。

原田 コロナ対策に関する行動規範を徹底することで、何かが変わらと思っています。まずは、「家族が大事・地域が大事・みんなが大事」と考え、



吉田 武陽さん
市PTA連合会会長
「いま困っている人をできる限り多く助けられる活動を行っていきたく考えています」

るのか、会員の結束と英知を結果していきたいです。

吉田 これからもっともっとインターネットを活用した面白いものが出てくると思います。インターネットでスポーツができる時代です。インターネットを使えば今までは比べ物にならない規模の事業ができます。ただ、通信環境が無い、使い方が分からない、他にもさまざまな理由で、インターネットを使わない、使えない人たちがいます。その層をどうやってカバーしていくかも非常に大切なことだと思っています。今困っている人を、

▼ソーシャルディスタンスの確保、飛沫防止パーティションの設置、換気などの対策を講じた上で実施しました



できる限り多く助けられる活動を行っていきたく考えています。

市長 今日は、さまざまなお話をいただきました。ありがとうございました。私も何とか街の灯は消したくないと思っています。皆さんのご意見を参考に、これからも新型コロナウイルス感染症と向き合い、感染対策のさらなる徹底と経済社会活動の両立を図り、オールふじみ野で新型コロナウイルス感染症による難局を乗り越えていきたいと思っています。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。